

若い世代の皆様 今、取り組んでいただきたいこと

感染拡大防止に向けた **3** つの行動

1 普段から

- 三密回避、人との距離確保、マスク着用、手指消毒、換気を徹底しましょう。
- 混雑している場所や感染リスクの高い場所はできる限り避けて行動しましょう。
- 普段会わない方や重症化リスクの高い方と接する際は、基本的な感染防止対策を更に徹底しましょう。
- 他の都府県への移動に際しては、基本的な対策を徹底し、移動先での感染リスクの高い行動を控えましょう。

2 飲食では

- 短時間、深酒をせず、大声を出さず、会話の時はマスクを着用しましょう。
- 特に大人数や普段会わない方との飲食の際は、より一層徹底しましょう。
- 北海道飲食店感染防止対策認証店等を利用し、飲食店等の感染防止対策に協力しましょう。

3 感染に不安を感じる時は

- ワクチン接種の有無にかかわらず、検査を受けましょう。
(無症状の方に限ります。)
 - 発熱等の症状がある場合は、外出や移動を控え、医療機関を受診しましょう。
- ※ 道内の無料検査事業所はコチラのHP(QRコード)をご確認ください。



若い世代の皆様に取り組んでいただきたいこと

大切な人のため、

自分自身のために

新型コロナ



ワクチン接種のご検討を

3回目の接種により、感染予防効果や重症化予防効果を高めることができます。予約に空きがあれば、2回目接種日より6ヵ月後から接種が可能です。種類を選ぶよりも早めの接種で、予防効果を高めましょう。

接種の必要性

- 日本で接種が進められているワクチンは、高い発症予防効果等がある一方、感染予防効果や、高齢者においては重症化予防効果について、時間の経過に伴い徐々に低下していくことが示唆されています。
- 3回目の接種により、低下したワクチン効果を高めることができるという、臨床試験や様々な疫学研究の結果が報告されています。
- オミクロン株に対しても1・2回目の接種による効果は時間の経過により低下しますが、3回目の接種で回復することが報告されています。

1・2回目の接種とは異なるワクチンを使用する 交差接種について

日本では現在3回目の接種に関して、ファイザー社及び武田/モデルナ社のワクチンが薬事承認されていますが、1・2回目の接種時に用いたワクチンの種類にかかわらず、どちらのワクチンを使用しても十分な効果等が確認されています。

3回目の接種による副反応について

3回目の接種後の副反応は、いずれのワクチンも2回目と同様の症状(疼痛や疲労など)が見られますが、武田/モデルナ社のワクチンについては、2回目と比べて発熱などの症状が少ないことが報告されています。

ただし、接種後数日たっても症状が残る場合や不安を感じる方は、接種を受けた医療機関・かかりつけ医等の医療機関の他、下記相談センターにご相談ください。

ワクチン接種相談センター

TEL:0120-306-154【受付時間】9:00~17:30(平日・土日・祝日)

※接種の予約・手続きの方法については、お住まいの市町村にご相談ください。

1・2回目のワクチン接種がまだの方も引き続き接種ができますので、ぜひワクチン接種をご検討ください。

接種に当たっては、感染症予防等のメリットと副反応等のデメリット双方について、正しい知識を持っていただいた上で、ご自身の意思で接種をご検討ください。
ワクチン接種は強制ではなく、接種を受けていない方に対する不当な差別・偏見はあってはならないものです。

